

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2018 年度 事業報告

2015 年に国連で採択された SDG に掲げるように持続可能な世界を実現するための国際的な取り組みが進められ、日本国内のさまざまな動きにも影響を与えている。法制度等の改正や企業の経営戦略に関わる議論とともに、地域共生社会づくりの呼びかけに象徴される「共助」の力の重要性が語られ、一人ひとりの市民の人権や生活を守る公私のさまざまな取り組みも広がっている。あらためて我々の社会観や価値観が問われるなか、JVCA の今後のビジョンをつくるにあたっても、多様な情報や意見をふまえながら協議していかなければならない。このような認識のもと、2018 年 12 月の理事会では次期の中期ビジョン策定には十分時間を取り、2020 年から 5 年間の目標と計画とすることを決定し、策定に向けての協議を開始した。

ここでは、2018 年度の事業推進および組織運営を振り返り、重点とした事業の進捗と事業ごとの実施状況を報告する。

重点1 第4期中期ビジョン策定への着手

時代の変化をとらえ、JVCA に求められるニーズをふまえた展望を持つために、策定のスケジュールと方法についての協議を開始した。第4期中期ビジョン案は、2019年度の理事会、運営委員会を中心に、会員や関係者の意見を採り入れながら草案し、2020年度通常総会において提案する。

重点 2 ボランティアコーディネーション力検定の拡大と、グッドプラクティス認定システムの確立

検定合格者の実情調査を行い、ボランティアコーディネーション力検定を活用する組織を 広げるための取り組みを行った。3級検定は共催検定を含め計画通りの回数と目標値を超え る受験者を得ることができた。2級・1級検定についてはここ数年受験者が定員に届かない 状況が続いている。グッドプラクティス認定システムについては、委員会を設置し、認定の 基本的な考え方を協議し、実践を可視化する手法を探るために1級検定合格者研修を実施 した。

重点 3 職務としてのボランティアコーディネーションの質を高めるための、実務研修体系の整備

実務研修については、主たる顧客としてきた社会福祉協議会のボランティアコーディネーターが減少(あるいは兼務化)し、一方でボランティアコーディネーション力を必要とする活動分野や場面は増加している。これに伴い、実務研修の対象もテーマも広がっており、第4期中期ビジョン策定の議論とすり合わせながら研修のあり方を検討することとした。

■1 事業の推進

(1)全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2018信州」の開催及び評価

長野県 NPO センターほか地元団体の協力により、長野県長野市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2018を開催した。プログラムの企画・立案については長野県内のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会が行った。

(実行委員長:山田千代子氏)

テーマ: ここがミソ!そばもコーディネーションも「つなぎ」がかんじん

~ヒト・モノ・コトから読み解き、未来を創造する~

期 日:2018年 3月3日(土)~4日(日)

会場: JA 長野県ビル・アクティホール、もんぜんぷら座、長野市生涯学習センター(TOiGO)

分科会: 21分科会

参加者:253人

実行委員:46人

運営協力者:10人

運営ボランティア:52人

講師・事例報告者等:延べ62人

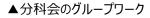
(実行委員との重複あり)



▲実行委員会風景









▲おもてなしの手作り名札

実行委員会開催状況

	期 日	会 場	参加人数
第13回	1月21日(日)	もんぜんぷら座	31 人
第 14 回	2月12日 (月・祝)	長野市ふれあいセンター	33 人
第 15 回	2月25日(日)	長野市ふれあいセンター	38 人
第 16 回	3月25日(日)	長野県社会福祉総合センター	30 人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2019京都」の準備

京都市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)を開催することが決定した。プログラムの企画・立案については京都府内を中心とした関西圏のボランティアコーディネーション実践者・関係者で構成する実行委員会を設置し、会議を開催している。第1回実行委員会では、志藤修史氏(大谷大学社会学部教授)を実行委員長に選任した。現地事務局は特定非営利活動法人ユースビジョンに委託した。

実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
準備会	5月13日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	8人
第1回	6月2日(土)	大谷大学	22人
第2回	7月1日(日)	大谷大学	26人
第3回	8月12日(日)	キャンパスプラザ京都	25人
第4回	9月17日 (月·祝)	大谷大学	24 人
第5回	10月14日(日)	大谷大学	28人
第6回	10月28日(日)	大谷大学	14人
拡大事務局会議	11月3日(土·祝)	ベーコンラボ京都駅 会議室	9人
第7回	11月18日(日)	キャンパスプラザ京都	17人
発 送	11月30日(金)	ユースビジョン	8人
第8回	12月24日 (月·祝)	大谷大学	23人

(2)研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ 1 級検定直前研修の開催 1回・1ヵ所(大阪)
- ②ボランティアコーディネーションカ 2 級検定直前研修の開催 2回・2ヵ所(東京・大阪)
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 2回・4ヵ所
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 8回
 - ⇒①~④の内容は(3)の項に掲載

⑤各種研修セミナーの開催

初任者向け:ボランティアコーディネーター基礎研修 2回 (大阪・東京)

タイトル	期日·会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月26日(火)	唐木理恵子	47 人
(東京会場)	ルーテル市ヶ谷センター	倉本 泰孝	
	(東京)	後藤麻理子	
第 44 期	9月 8日 (土)	後藤麻理子	46 人
ボランティアコーディネーター養成講座	大阪府社会福祉会館	南 多恵子	
(大阪ボランティア協会共催)			

・実践者向け:ボランティアコーディネーター実務研修(基礎) ⇒開催せず

・実践者向け:ボランティアコーディネーター実務研修(応用) 1回

タイトル	期日·会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター実務者研修	12月4日(火)	加留部貴行	8人
テーマ:ボランティアの高齢化と向き合う	ルーテル市ヶ谷センター		
	(東京)		

⑥研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、 JVCAの理事・役員等を派遣した。

派遣 96 件 研修日数 114 日 / 派遣講師 18 人 (実人数)

- ※講師派遣事業実績一覧参照
- ・講師派遣事業拡大のために「講師派遣・紹介のご案内」、研修メニュー、講師リストを WEB サイトに掲載している。

⑦東日本大震災・被災地の復興に向けたコーディネーションカの強化と人材育成

・福島県市町村社会福祉協議会生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力 新任の生活支援相談員等研修(5月22-23日)、実務経験1~3年程度の生活 支援相談員等テーマ別研修(9月11-12日)への講師派遣を行った。

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施、認定システムの開発

①ボランティアコーディネーションカ1級検定試験の実施 1回

本年度第1回(通算第7回)ボランティアコーディネーションカ1級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で1級検定試験を東京と大阪の2会場で実施した。

開催地・会場	期日	講師・運営	受験者
<第1回>	7月14日 (土)	早瀬 昇、小原 宗一、	23人
大阪ボランティア協会	~7月15日(日)	岩井 俊宗、後藤麻理子	
	直前研修		
【東京】	7月29日(日)	<試験監督>	7人
飯田橋セントラルプラザ	試験	小原 宗一、疋田 恵子、	
【大阪】		岩井 俊宗、上田 英司	15人
大阪ボランティア協会		永井 美佳、垂井加寿恵、	
		竹田 純子、後藤麻理子	

<第1回(通算第7回) 1級検定 試験結果>

受験者数 22 人 合格者数 9 人 合格率 40.9.9

②ボランティアコーディネーションカ 2 級検定試験の実施 2回・2ヵ所

開催地·会場	期 日	講師	受験者
〈第1回〉 通算17回	9月15日 (土)	早瀬 昇	40 人
大阪会場	~9月16日(日)	後藤麻理子	
大阪府社会福祉会館	直前研修 & 検定試験	竹田 純子	
		新堀 春輔	
		栗木 梨衣	
<第2回> 通算18回	10月27日 (土)	小原 宗一	41人
東京会場	~10月28日(日)	後藤麻理子	
入谷ホール	直前研修 & 検定試験	疋田 恵子	
		栗木 梨衣	

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	合計
受験者数	40 人	41 人	81 人
合格者数	33人	28 人	61 人
合格率	82.5%	68.3%	75.3%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 2回(主催)

<第1回検定の実施> (通算第25回)

開催地·会場	期日	講師	受験者
東京会場		三田 響子	60人
飯田橋セントラルプラザ	6月30日(土)	後藤麻理子	
<共催:東京ボランティア・市民活動センター>	 •直前研修		
大阪会場	・恒前如% ・検定試験	竹田 純子	45 人
大阪府立労働センター(エル・おおさか)	* 1天人上記入海天 	青山 織衣	
<研修共催:大阪ボランティア協会>			
福岡会場		公文真理亜	37人
大野城市社会福祉総合センター		加留部貴行	
<協力:大野城市社会福祉協議会>			



<第2回検定の実施> (通算第26回)

開催地・会場	期日	講師	受験者
東京会場		矢島 万理	67人
飯田橋セントラルプラザ <共催:東京ボランティア・市民活動センター>	12月9日(日)	鹿住 貴之	
	•直前研修	 永井 美佳	41 人
大阪府社会福祉会館	•検定試験	垂井加寿恵	/ (
<研修共催:大阪ボランティア協会>			

 試験結果	第1回		第2回		合計	
武殿和未	東京	大阪	福岡	東京	大阪	
受験者数	60人	45 人	37人	67人	41 人	250 人
合格者数	55 人	42 人	34 人	64 人	37人	232 人
合格率	91.7%	93.3%	91.9%	95.5%	90.2%	92.8%

<共催検定> (計画 8回)

共催団体	期日	講師	受験者	
①東京都社会福祉協議会	6月30日(土)	三田 響子	45 人	
東京ボランティア・市民活動センター	※東京の主催検定と合体	後藤麻理子		
②沖縄県社会福祉協議会	6月30日(土)	唐木理恵子	42 人	
③東北公益文科大学	0807 (+)	唐木理恵子	34 人	
④岡山県ゆうあいセンター	9月8日(土)	加留部貴行	34 人	
○ ★初上学市古		上田 英司	20.1	
⑤首都大学東京	9月22日(土)	後藤麻理子	29 人	
②等公士学	9月22日(土)	早瀬 昇	24	
⑥龍谷大学		筒井のり子	31人	
⑦長野県社会福祉協議会	10月6日(土)	筒井のり子	47 人	
⑧西南学院大学		加留部貴行	49 人	
9とちぎ YMCA	11月3日 (土·祝)	土崎 雄祐	44 1	
SCOR TIMEA		唐木理恵子	44 人	

<試験結果>

	1	2	3	4	(5)		
受験者数	45 人	42 人	34 人	34 人	29 人		
合格者数	42 人	36 人	30 人	21 人	29 人		
合格率	93.3%	85.7%	88.2%	61.8%	100.0%		
	6	7	8	9			
受験者数	31人	47 人	49 人	44 人			
合格者数	24 人	41 人	41 人	36 人			
合格率	77.4%	87.2%	83.7%	81.8%			

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
○☆7	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会→あいちコミュニティ財団	2級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2級
11	赤澤 清孝	ユースビジョン	2級
12	濱屋 伸子	京都市国際交流協会	2級
13	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2級
☆14	加留部貴行	九州大学	3級
15	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級
16	土崎 雄祐	宇都宮大学→茨城大学	3級
17	足立 陽子	首都大学東京 ボランティアセンター	3 級
18	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3 級

・各級チームミーティングの開催

«1級検定チーム»

	期 日	会 場	参加人数
第1回	6月13日(水)	JVCA 事務所	5人
第2回	6月25日(月)	JVCA 事務所	5人
採 点	8月1日(水)	JVCA 事務所	1人
第3回·採点	8月5日(日)	JVCA 事務所	4人

«2級検定チーム»

	期 日	会 場	参加人数
第1回	6月10日(日)	大谷大学	5人
第2回	7月16日 (月·祝)	京都市国際交流協会	6人
第3回	8月25日(土)	大谷大学	6人
第4回	9月24日 (月·祝)	大谷大学	5人

«3級検定チーム»

	期 日	会 場	参加人数
第1回	2月16日(金)	JVCA事務所	4人
第2回	4月 7日 (土)	JVCA事務所	4人
採 点	7月 5日 (木)	JVCA事務所	2人
第3回	8月 7日 (火)	JVCA事務所	3人
採 点	9月13日(木)	JVCA事務所	2人
採 点	9月28日(金)	JVCA事務所	2人
第4回	10月 8日 (月·祝)	JVCA事務所	4人
採 点	11月13日(火)	JVCA事務所	2人

⑤『ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト』の送付

⇒1 級検定テキストを検定受験者へ送付した。(4月~)

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂・送付

⇒2 級検定サブテキストを一部修正のうえ増刷し、検定受験者へ送付した。 (5月~)

⑦1級・2級検定合格者フォローアップ企画の開催

・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 (信州) の前日企画として、「ボランティアコーディネーション力検定 1・2 級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日·会場	ホスト・企画	参加者
ボランティアコーディネーション力	3月2日(金)	長谷部 治、竹田 純子 17	
1・2級検定合格者の集い	18:30~21:30	永井 美佳、早瀬 昇	
<縁結び・おむすびパーティ>	ヤマニビル	山岸久美子、赤羽 美香	
	(長野市)	戸崎 洋子、市瀬 明美	
		竹脇 恵美	

・ボランティアコーディネーションカ1級検定合格者フォローアップ研修の開催

タイトル	期日·会場	ホスト・企画	参加者
ボランティアコーディネーション	11月30日(金)	上田 英司、岩井 俊宗	6人
実践の可視化	11:00~16:30	妻鹿ふみ子、後藤麻理子	
~参加者の事例をもとに~	東京文化会館	小原 宗一	
	(上野)		

⑧検定合格者(3級・2級)に対するメールマガジンの提供(各級年2回配信計画)

(検定合格者向けプロジェクトチーム担当)

・3級合格者向け(通算第6号) 6月28日発行

9検定事業の PR (受験者拡大、共催団体開拓)

(検定プロモーションプロジェクトチーム担当)

- ・報道機関へのプレスリリースの実施:「2018 年度 ボランティアコーディネーション力 3 級検定」 の実施について 2018.5
- ・検定合格者アンケートの実施

ボランティアコーディネーターが所属する組織が検定合格をどのように評価しているのかを把握するために、合格者を通じて実情を調査した。(E メールによる)

2 級合格者 対象者: 405 人 回答者 113 人(回答率: 27.9%) 1.20-2.28

1級合格者 対象者: 66人 回答者 32人(回答率:48.5%) 3.22-4.6

・検定 PR チラシの作成 (大学向け・自治体等職員向け)

(4)情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン (会員向け) の発行 (月1回)

めるまが Co★Co★Net 第 152 号~第 163 号の発信 (12 回)

② JVCA 公式 facebook の運営

WEB 委員会と事務局を中心に、運営委員も機会に応じて記事を掲載した。

③ JVCA リーフレットの増刷

A4 判両面カラー刷りの JVCA 紹介と会員加入促進チラシを増刷(2月) 400 部

④ WEB サイトの充実

WEBサイトのリニューアルを行い、データを移行し、2月下旬に公開した。 セキュリティのレベル向上のためにSSL対応の処置を行った。

- ⑤ ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集
- ⑥ 雑誌・新聞などへの寄稿 など
 - ・市民活動総合情報誌『ウォロ(VOLO)』 2018.4・5 発行: 大阪ボランティア協会 特集:活動したい市民団体 私の選択(投稿:後藤麻理子)
 - ・『南の風 通巻 280 号』 2018.June 発行: シャプラニール ボランティアとともに歩むことの大切さ(執筆:後藤麻理子)
 - ・毎日新聞〔大阪地方版〕「ボランティアコーディネーションカ 3 級検定」2018.6.6
 - ・岩手日日電子新聞「ボランティアの未来語る 江刺で集い」2018.7.12 (講師派遣)

⑦ 個別相談への対応

・会員メーリングリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メーリングリストに寄せられる相談 を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

会員メーリングリスト利用件数 174件

・事務局に入った相談・問い合わせ(Eメール、電話、来所など)に対応した。

⑧ ボランティアコーディネーションについての普及啓発

- ・JVCA の PR、ボランティアコーディネーター基本指針、ご存知ですか?ボランティアコーディネータ
- (ポスター) の配付など、通常の情報提供を継続している。
- ・WEB サイトの「ボランティアコーディネーターとは」「Q&A」を充実させた。

(5) 広報紙および出版物の発行

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:4月、8月、12月)

Co★Co★Net 第53号

特集: JVCC2018信州 A2分科会から 長野発 地域の居場所

4月30日発行 500部

Co★Co★Net 第54号

特集: NPO 法 20 年を考える~その意味と、これからの課題~

8月31日発行 500部

Co★Co★Net 第55号

特集:小さな NPO が進める [まちづくり×ひとづくり]

~ボランティアコーディネーションのツボをさがせ! ~

12月10日発行 500部

再掲②ボランティアコーディネーションカ2級検定テキストの発行(一部改訂・増刷)

B5判 160ページ 100部 5月20日発行

再掲③グッドプラクティス事例集 VOL. 2の発行

『コーディネーション力で人や組織が動き出す』

A 5 判 53ページ 500 部 3月1日発行

<目次>

- CASE 1 高齢化した集落と若者がつながった!
 - ~広域の助け合いから継続的なまちづくりへ
- CASE 2 「あきらめたくない」が出発点

~祭のユニバーサル化に向けた市民発のプロジェクト

- CASE 3 大型スーパーで「まちの縁側」活動開始
 - ~シニア大学の卒業生が地域の居場所を立ち上げ
- CASE 4 企業・行政・NPO のコラボを被災地で ~丁寧なニーズ把握とアセスメントをプログラムに
- CASE 5 大学と学生による被災地への復興支援 ~学生の主体性とやる気を引き出す関わり



(6)調査・研究活動の推進

①実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討と試行

⇒開催なし

②ボランティアコーディネーションカ検定直前研修のプログラム開発と運営

ボランティアコーディネーション力検定の直前研修のプログラムを改善し、使用する事例やワークシートを作成するために、研修委員会を設置した。

・「検定研修委員会」の設置

No	委員名	所 属		
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク		
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会		
3	加留部貴行	九州大学大学院		
4	栗木 梨衣	あいちコミュニティ財団		
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会		
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター		
7	筒井 のり子	龍谷大学		
8	早瀬 昇	大阪ボランティア協会		
9	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会		

<委員会の開催>

	期 日	会 場	参加人数
第1回	5月5日(土·祝)	JVCA事務所	7人

③グッドプラクティス認定システム化委員会の設置

優れたボランティアコーディネーション実践をグッドプラクティスとして認定するシステムを構築するため に委員会を設置した。

・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属		
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク		
2	上田 英司	日本 NPO センター		
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会		
4	妻鹿ふみ子	東海大学		
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会		

<委員会の開催>

	期 日	会 場	参加人数
第1回	9月6日(木)	JVCA事務所	5人

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

①エリアメイトの募集

会員に向けて「エリアメイト」の募集を行ったところ 18 人の応募があった。

地域プロモーション委員会ではエリアメイトと連絡を取り、それぞれの応募動機や活動ニーズを聞き取った。 話し合いの過程でエリアメイトの職場を訪問しようという企画があがり、以下の事業を行った。

■エリアアクション 01 ボランティアコーディネーション「びーのびーの」のヒミツ

(協力エリアメイト:畑中由美子さん)

期日:9月1日(土) 訪問先:「地域子育て支援拠点どろっぷ」(横浜市) 参加者:7人

②CoCoサロンの開催・運営支援

·CoCoサロンの開催状況

日程	地域/分野	会 場	参加人数	主な内容
1月17日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所	8人	「地域包括ケアシステム」を丸ごと自分事!にするための熱い意見交換を行った。
1月31日 (水)	庄内	楽家	4人	新年の抱負を語る、語り初めサロンとして 開催した。
3月10日 (土)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所	27 人	共働の輪っかをつないでいこうをテーマに 兵庫県から杉浦健さんを招いて開催。地 域のつながりづくりについて話し合った。
3月21日 (水)	庄内	楽家	9人	加留部貴行理事を招き、質問カードを 使って「問い」を通じたコミュニケーションを 楽しんだ。
4月25日 (水)	庄内	楽家	4人	各自の学びを出し合いながら「ワークショップ」や「ファシリテーション」の基本を確認した。
5月11日 (金)	日の出 どんぐり (東京)	宝光保育園	25人	「社会福祉施設におけるコーディネーター の役割」をテーマに疋田恵子さんをファシ リテーターに招き、学習会を開催した。
5月30日 (水)	庄内	楽家	5人	前回に引き続き「ワークショップ」や「ファシ リテーション」の大切さや実践についての基 本を確認した。
5月30日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所	10人	今年度のテーマを話し合い「地域共生社会」や「コーディネート」がキーワードとして挙がり、その背景を共有した。

	T			1
6月14日	富山	越中五色	3人	唐木理恵子代表理事を囲んで、社協の
(木)		ふうぶつし		ボランティアセンターが置かれている現状 やつながりの薄さなどの課題を共有した。
6月15日	日の出	大瀬戸記念館	27 人	「障害とは何か?」というテーマを掲げ、日
(金)	どんぐり	花咲き邸		の出太陽の家の馬場雄輔さんのリードで
	(東京)			個人ワークを踏まえて、積極的な意見交 換が行われた。
6月18日	長野	Enjoy & Happy	10人	加留部貴行理事をゲストに迎え、参加の
(月)		life cura		意欲を高めたり、ハードルを下げられるファーシリテーションのコツについて話し合った。
6月27日	庄内	 楽家	5 人	それぞれが好きなテーマを選んで、全員が
(水))	未外	3 人	交代でファシリテーショングラフィックを体験
				した。
7月9日	岐阜	文化屋岐阜	5人	加留部貴行理事をゲストに迎え、新入
(月)				会員の参加も得て、アクティブラーニング やファシリテーションの極意など気軽な学
				びの機会を持った。
7月16日	庄内	楽家	12人	加留部貴行理事をゲストに迎え、
(月)				Facilitation Night!と題し、バーベキューをしながら懇親を行った。
7月25日	日の出	宝光保育園	21人	「歳を取るということ」をテーマに、特別養
(水)	どんぐり			護老人ホームのスタッフから現状を聞いた
	(東京)			うえで、グループワークで老後についての考 え方や感じ方を話し合った。
7月25日	北九州	生き方の	7人	初参加のメンバーがいたので自己紹介
(水)	Link	デザイン研究所		し、日々の活動や所属、持っている課題
	福祉施設			などを共有し、疑問にも応えた。
8月9日 (木)	庄内 	楽家	4人	ボランティアコーディネーション力検定につながる研修を控えて、ワークショップやワー
(///)				ルドカフェ等の実践練習を行った。
9月18日	日の出	宝光保育園	19人	「病院のイロハ」をテーマに機能や特徴、
(火)	どんぐり			多職種連携のことや、最近の医療トピックなどについて話を聞き、意見交換した。
0 = 26 =	(東京)	#++*	40 '	
9月26日 (水)	北九州 Link	生き方の デザイン研究所	12 人	ボランティア活動を取り巻く現状がさまざま な立場から語られ、ボランティアコーディネ
(/)(/)	LITIK 福祉施設	ノソコンツハスルバ		ーターの役割について意見交換した。
		1		

9月27日 (木)	庄内	楽家	10人	鹿住貴之さんと足立陽子さんをゲストに 「芋煮 de talk night!」と称して、フリ ーなトークを楽しんだ。
10月5日 (金)	長野 (松本)	モナチューロス	7人	筒井のり子理事をゲストに迎え、コーディネーションの力がさまざまな現場でも生かされている事例を話し合った。
11月1日 (木)	日の出 どんぐり (東京)	宝光保育園	22人	「子どもの意識の変化からハートワーカー の役割を考える」をテーマに、これからの子育て・子育ち支援と地域で出来ることを考えた。
11月2日 (金)	関西	天満橋	6人	加留部貴行理事を囲んで、ボランティアコ ーディネーターの働き方について意見交換 した。
11月16日 (金)	岐阜	さんぞう	4人	9月の運営委員会に合わせて開催を呼びかけたサロンが荒天により中止になったため、時期をずらして県内の会員で集まって開催し、顔合わせを行った。
11月22日 (木)	庄内	楽家	8人	後藤麻理子事務局長などをゲストに、 「私が大切にしていること」というワークショ ップと庄内の味覚を楽しんだ。
11月28日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所	8人	参加者より施設のリニューアルオープンに 伴う新規事業等の紹介の後、近況報告 や事例の相談など情報交換を行った。
12月11日 (火)	日の出 どんぐり (東京)	宝光保育園	21人	「中間的就労の可能性」〜地域共生社会創造のインパクトとなりうるのか〜をテーマに実践事例をふまえて、その可能性を考えた。

③国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならび に協力し、連携を深めている。

・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加

幹事会への参加 提言プロジェクトチームへの参加 ボランティア全国フォーラムへの運営参加

・東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参加

- ・他団体が実施(主催)する委員会等への協力、参加(委員委嘱)
 - i) 東京都中央区地域振興課:中央区協働推進会議 委員
 - ii)全国社会福祉協議会:全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
 - iii) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 委員
 - iv) チャリティホワイト新規プロジェクト:選出委員
 - v) 東京ボランティア・市民活動センター:中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・ 評価委員
 - vi) シャプラニール:理事

・後援(名義使用の許可)

- i) 日本精神保健福祉士協会全国大会/日本精神保健福祉士学会学術集会:日本精神保健福祉士協会
- ii) 社会貢献教育オープンシンポジウム:日本ファンドレイジング協会
- iii) ファンドレイジング日本 2018: 日本ファンドレイジング協会
- iv) 日の出町ハートワークフェア 2018:日の出町ハートワークフェア実行委員会
- v) 公開勉強会 生まれると生きるを考える~素敵な性を子どもたちに伝えるために~
 - : 宝光保育園

■ 2 組織運営と財政

(1)通常総会

開催日 2018年3月4日(日)

会 場 もんぜんぷら座

正会員数 344 人 定足数 172 人

出席者数 209人(会場38人、意思表明85人、委任86人)

審議結果 第1号議案 2017年度事業報告ならびに決算案について

第2号議案 2018年度事業計画ならびに予算案について

第3号議案 定款変更について

第4号議案 第10期役員体制について

提出した議案はすべて承認された。

(2) 理事会

第 10 期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿 (2018 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日)

No.	氏 名	所 属 先	地域
1	青山 織衣	岸和田市社会福祉協議会	大阪府
2	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン	京都府
3	石原 達也	特定非営利活動法人岡山 NPO センター	岡山県
4	上田 英司	特定非営利活動法人日本 NPO センター	東京都
5	小原 宗一	北区社会福祉協議会	東京都
6	唐木 理恵子	紬ワークス	東京都
7	加留部 貴行	九州大学大学院	福岡県
8	栗木 梨衣	公益財団法人あいちコミュニティ財団	愛知県
9	後藤 麻理子	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京都
10	斉藤 悦子	病院ボランティアコーディネーター研究会	北海道
11	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀県
12	西川正	特定非営利活動法人ハンズオン!埼玉	埼玉県
13	野尻 紀恵	日本福祉大学	愛知県
14	早瀬昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
15	矢島 万理		東京都

⁴月理事会において、代表理事に唐木理恵子、副代表理事に早瀬昇と小原宗一を選任した。

理事会の開催(計画:4回)

	日 程	会 場	出席	審議事項
第 62 回	2月4日 (日)	特定非営利活動法人 ユースビジョン (京都市内)	13人	第1号議案 2017年度 事業報告 および決算案について 第2号議案 2018年度 事業計画 および予算案について 第3号議案 第10期 役員体制案に ついて
第 63 回	4月8日 (日)	喫茶室ルノアール 四谷店 マイスペース会議室	15人	第1号議案 正副代表理事の選任に ついて
第 64 回	8月12日 (日)	キャンパスプラザ京都	14人	第1号議案 2018年度7月末までの 執行状況について 第2号議案 第4期中期ビジョンの策定 体制とスケジュールについて
第 65 回	12月23日 (日)	喫茶室ル <i>J</i> アール 飯田橋西口店 マイスペース会議室	15人	第1号議案 2019年度 事業計画・ 暫定予算案 第2号議案 2019年 検定試験委 員の選任

(3)監事監査

2017年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2018年 1月31日(水) 場所 JVCA事務所

監事

No.	氏 名 所 属		地域
1	安藤 雄太	太 東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー	
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京

(4)委員会

①運営委員会の設置 (計画:月1回・12回)

2018 年度運営委員体制 (2018.4-2019.3) ◎委員長 ○副委員長

NO	氏 名	地域	所 属
1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	茨城大学
4	足立 陽子	東京	首都大学東京 ボランティアセンター
5	阿部陽一郎	東京	社会福祉法人中央共同募金会
6	飯塚 和幸	東京	西東京市社会福祉協議会

	7	浦東 聖野	東京	特定非営利活動法人東京都北区市民活動推進機構				
0	8	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK				
	9	唐木理恵子	東京	紬ワークス				
	10	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会				
	11	後藤麻理子	東京	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会				
	12	佐藤 匠	東京	全国社会福祉協議会				
0	13	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会				
	14	武藤 祐子	東京	千代田区社会福祉協議会				
	15	米田 太郎	東京	社会福祉法人八晃会 宝光保育園				
	16	仲丸 等	神奈川	横浜市社会福祉協議会				
	17	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会				
	18	竹脇 恵美	長野	公益財団法人長野県長寿社会開発センター木曽支部				
	19	戸田千登美	長野	公益財団法人長野県長寿社会開発センター				
	20	清水 由子	岐阜	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団				
	21	筒井のり子	滋賀	龍谷大学				
	22	青山 織衣	大阪	岸和田市社会福祉協議会				
	23	椎名 保友	大阪	特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク				
	24	早瀬 昇	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会				
	25	椋木 美緒	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会				
\circ	26	杉浦 健	兵庫	共働プラットホーム				
	27	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸				
	28	加留部貴行	福岡	九州大学				

・運営委員会の開催 計 11 回

	日 程	会 場	出席
第1回	1月20日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	5人
第2回	2月18日(日)	大学生協杉並会館	15人
第3回	3月11日(日)	日常生活支援ネットワーク事務所	8人
第4回	4月28日(土)	かながわ県民活動サポートセンター	19人
第5回	5月13日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	14 人
第6回	6月 9日 (土)	大学生協杉並会館	11人
第7回	7月21-22日(土・日)	おごと温泉 木もれび(滋賀県)	22人
第8回	8月11日(土)	横浜市社会福祉センター	14 人
第9回	10月21日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	12人
第 10 回	11月18日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	14 人
第11回	12月2日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	17人

9月30日(日)に岐阜において開催を予定していた運営委員会は大型台風が本州に上陸したことにより中止の判断をした。

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を担い、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を設置し、推進した。

(活動実績は会議開催のみを掲載)

i)研修開発委員会・・・・基礎研修等やファシリテーション講座等の調整、準備、実施、実務研修条がくり

■メンバー:小原宗一、加留部貴行、筒井のり子、後藤麻理子 ⇒会議開催なし

ii) J V C C企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2018 実行委員会への参加、JVCC2019 の開催地調整・実行委員会への参加、JVCC2020 開催地の検討

■メンバー:杉浦 健、唐木理恵子、土崎雄祐、三田響子

iii) 財政委員会 ···・財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、予算の作成

■メンバー:早瀬 昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、飯塚和幸、土崎雄祐、米田太郎

	日程	会 場
第1回	1月20日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第2回	7月2日(月)	中央共同募金会
第3回	10月21日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第4回	11月29日(木)	JVCA 事務所
第5回	12月12日(水)	中央共同募金会

iv)WEB 委員会 ··· J V C A 公式 facebook の運営、J V C A のW E B サイトの改善、 メンテナンス

■メンバー:足立陽子、浦東聖野、橋口文博 ⇒会議開催なし

v)地域プロモーション委員会…エリアメイトとの協働、エリアアクションの実施、会員獲得のための戦略 的なアプローチ

■ メンバー:加留部貴行、熊谷紀良、疋田恵子、武藤祐子、佐藤匠、仲丸等、岩浪武司、 栗原穂子、戸田千登美、竹脇恵美、青山織衣、椎名保友

	日 程	会 場
第1回	2月18日(日)	大学生協杉並会館
第2回	4月28日(土)	かながわ県民活動サポートセンター
第3回	5月13日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第4回	6月9日(土)	大学生協杉並会館
第5回	8月11日 (土·祝)	横浜市社会福祉センター
第6回	12月2日(日)	東京ボランティア・市民活動センター

③専門委員会の設置、運営

i)検定試験委員会(継続) ⇒事業の推進(3)に記載

ii)検定研修委員会(新設) ⇒事業の推進(6)に記載

iii) グッドプラクティス認定システム化委員会(新設) ⇒事業の推進 (6) に記載

④プロジェクトチームの運営

i) 検定合格者向けプロジェクトチーム 合格者向けメールマガジンの作成、発信 (疋田恵子、三田響子) ⇒事業の推進 (3) に記載

ii)検定プロモーションプロジェクトチーム 検定事業の PR、3 級共催団体の獲得 (早瀬昇、鹿住貴之、清水由子、小林政夫)

⇒事業の推進(3)に取り組みを記載

	日 程	会 場		
第1回	2月18日(日)	大学生協杉並会館		
第2回	3月11日(日)	日常生活ネットワーク事務所		
第3回	5月13日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス		
第4回	10月21日(日)	東京ボランティア・市民活動センター		

(5) 会員拡大および会員サービスの充実

①顧客・支援者データベースの構築

Salesforce により、会員をはじめ、検定合格者、JVCC 参加者などの情報を入力し、登録者情報の一元化に努めた。登録者には、各種事業の案内を行った。

②会員拡大に関する取り組み

- ・検定合格者に対し、JVCC2018参加と入会の案内を行った。
- ・主催研修ならびに講師派遣研修において会員勧誘のチラシを配布した。
- ③会費納入率の向上 広報紙送付時に納入依頼を行った。
- 4会員継続への働きかけの強化

未納の会員に面識のある運営委員が分担して、個別に継続依頼を行った。

⑤賛助会員(個人)の拡大

正会員の退会希望者にはできるだけ賛助会員への移行をお願いした。

年度末の会員数		2018	2017	2016	2015	2014
会員総数		469 人	459 人	479 人	470 人	465 人
	正会員	355 人	355人	371 人	378人	377人
	準会員	31人	29 人	44 人	39 人	41 人
	賛助会員(個人)	74 人	66 人	56 人	43 人	38 人
	賛助会員(団体)	9 団体	9 団体	8 団体	10 団体	9 団体

(6) 事務局運営の充実

①事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

12月19日(水) 西川理事による職員に対するスーパービジョンを実施した。

②職員採用

2017 年 1 月より常勤嘱託として雇用した事務局職員(福谷麻里)を、2018 年 1 月から 正規職員契約に切り替えた。

(7) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員拡大策について財政委員会を中心に検討した。

②事業収益の拡大

検定受験者の確保に努めた。3級検定は予算上の目標値を達成した。

③**寄付者の拡大** 11 月より寄付キャンペーンを行った。

④助成金、委託事業などの活用

- ・助成金の申請: 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 を開催する費用について、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成を申請し、採択された。
- ・gooddo への支援協力依頼

クリックによる寄付のシステムが 1 月で終了し、シェアや商品購入による寄付のみとなり、 大きく支援金が減少した。

大きく支援金が減少した。

<支援金確定額> ※クリックから振込手数料を差引いてマイナスになる場合は0円、いいね!のみ支払。

月	計	クリック・シェア	いいね!・商品購入	振込手数料
2018年1月	26,538円	25,932円	606円	
2月	661円	16円	6 4 5円	
3月	440円	1円	439円	648円
4月	448円	9円	439円	
5月	508円	18円	490円	
6月	1,173円	8円	1,165円	-648円
7月	482円	6円	476円	
8月	832円	8円	824円	
9月	142円	10円	132円	648円
10月	553円	14円	5 3 9円	
11月	125円	2 5円	100円	
12月	458円	28円	430円	648円
合 計	32,360円	26,075円	6,285円	

(s)「おサイフ通信」の発行 第10号 5月17日 配信 第11号 12月26日 配信

寄付者名簿

ご協力ありがとうございました

82 件、71 人の皆様からご寄付を頂戴いたしました。このうち 64 件が認定特定非営利活動法人の申請(更新)の際に要件となるパブリックサポートテスト(PST)の対象になる寄付です。重ねて御礼申し上げます。

松本まり子

椋木 美緒

武藤 祐子

村上 直美

山﨑 智文

山地 晴義

渡邉 善明

ほか、匿名4人

青山 織衣 清水 由子 相田 敬子 城 千聡 赤石 千秋 杉浦 健 足立 陽子 鈴木 孝芳 穴見 千佳 高木 麻友子 阿南 健太郎 高橋 義博 石川 千種 竹脇 恵美 市瀬 明美 土崎 雄祐 岩下 広和 筒井 のり子 江森 謙太郎 椿 浩和 遠藤 紗穂里 寺田 美和子 岡村 公一 中川 公輝 鹿住 貴之 中川 朋子 鹿住 泰久 仲丸 等 南部 博之 唐木 理恵子 丹羽 史泰 加留部 貴行 菊池 浩史 丹羽 みどり 北川 果奈 長沼 豊 熊谷 紀良 濱屋 伸子 倉本 泰孝 早瀬 智啓 後藤 麻理子 早瀬 昇 小林 政夫 疋田 恵子 小嶺 仁 疋田 健 佐々木 俊宙 疋田 淑子 佐藤 匠 福谷 麻里 佐藤 茂雄 福谷 亮子 澤田 奈男 福本 滋 芝原 浩美 福本 寅一 志田 英男 福本 久子 松本 貴久 清水 誠